

一人一人にあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか  
～小・中における授業実践を通して～

## 1 研究の内容

### 1 研究方法

- (1) 小・中で授業実践を行う。
- (2) 理論研究として学習会を行う。
- (3) 授業（教科を含む）とキャリア諸能力との関連を明らかにし、各校よりもちよる。
- (4) 高校入試制度の課題を検証する。

### 2 研究の具体的内容

#### (1) 授業実践

##### ① 祝小（中村英彦教諭） 第6学年学級活動

『運動会を成功させよう』『最高学年としての自分，仲間』

○働くことの意義や役割を理解し、運動会への自分のかかわり方について、改善策を考  
えることができる〈キャリアプランニング能力〉ことをねらいとして授業が行われた。

##### ② 山梨北中（鶴田一路教諭）第3学年社会科

『生産の仕組みと企業・金融』

○企業と社会的責任に関心を持ち、就職時における企業の選択について、自分の課題と  
して取り組むことができたり、企業選択について多面的・多角的に考察し選択できたり  
することをねらいとして授業が行われた。

#### (2) 理論研究会

講義 「小中におけるキャリア教育のあり方と進路指導」

河口湖町立富士豊茂小学校 井上敬典 校長先生

○「キャリア教育」をめぐる状況について、社会的背景や進路指導との関連、現場発想  
で捕らえる「キャリア教育」、中学校での実践例等、貴重な資料を提供して頂きなが  
ら、学習を深めることができた。

#### (3) 実践・資料発表

- ① 日川小 （ドキドキがあつて、「やった」「できた」「次は～したい」を大切にした実践）
- ② 山梨南中（職場体験学習，職業講話の取り組み）
- ③ 塩山北小（算数科，道徳の授業におけるキャリア教育との関連）
- ④ 塩山中 （国語科におけるキャリア教育を視野に入れた指導について）
- ⑤ 八幡小 （国語科実践報告：1年生「なんていったらいいのかな」）
- ⑥ 山梨北中（キャリア教育指導計画と教科におけるかかわり）

- ⑦ 祝小 (家庭科：工夫しよう楽しい食事，家族のためのメニュー)
- ⑧ 塩山北中 (社会科におけるキャリア教育にかかわる授業について)
- ⑨ 笛川中 (職場体験学習に生かす国語学習)
- ⑩ 勝沼中 (総合的な学習とキャリア教育：福祉について学ぼう)
- ⑪ 大和中 (英語科とキャリア教育との関連：コミュニケーションを通して自他の理解)

## II 成果と課題

### 1 成果として

- ・小中両方の研究授業が参観できたことで，それぞれの先生方の子どもに対する発問などアプローチの仕方に違いが見られて勉強になった。
- ・各校の実践報告が，とても勉強になった。特に中学校の各教科が，キャリア教育とリンクしていろいろな授業ができることが，今年度の研究でわかった。また，鶴田先生の授業では，中学校の社会科とキャリア教育とのつながりや関わりがよくわかってよかった。
- ・小中それぞれの教員が所属することで，小中のキャリア発達の特性を知ることにとどまらず，小中が連携したキャリア教育について研究を進めることができた。
- ・実践を各教科に広げることができ，キャリア教育について研究が広がった。特に，社会科の学習の中では，キャリアと関係づけられる場面が多く，キャリア諸能力を育てていきやすいと感じた。また，各校の実践持ちよりから，様々な教科で，キャリアを意識した実践が報告され，参考になった。
- ・高校入試制度についての，現場が抱える課題点について，本音で話し合える場となり，県レベルでもそれぞれの地域の抱える課題の共有化ができよかった。

### 2 課題として

- ・今年度の研究のように，総合などでの取り組みに加え，普段の授業（教科，特活など）の中にキャリアの視点を入れていくポイントなどを探っていくことも，小中に関わらず授業作りのヒントとなりよい研究になる。
- ・山梨県の中でキャリア教育推進校の実践などを開ける機会があるといい。  
(夏の学習会など) 他校のようすや，中身を知ることで，自校の参考にもなるのではないか。
- ・教科等の普段の授業の中でキャリア教育をみんなで進めていくための学校としての取り組みなどを考えていければと思う。
- ・高校入試制度等に進路に関わる情報は，引き続き中学校の先生からの情報がいただけるとよい。小学校でもアンテナを高くして先を見通した適切な支援をしていきたい。
- ・特別支援の先生も部会にいらっしゃったが，高校入試制度や特別支援の生徒の進路指導等に関わる情報をなかなか上手に集めて還元できなかつたと感じている。

## III 研究の成果物

○小学校6年(学活)，中学校3年(社会)授業案 ○各校実践レポート ○理論研究資料

(部長 青柳 俊雄)